

まちづくりに込める想い（基本理念）、将来都市像の補足説明

まちづくりに込める想い（基本理念）

2040年のありたい姿を展望し、まちづくりを進める中で、追求する普遍的な想いを設定

上越市ならではの快適で幸せな暮らし

①大切な価値を継承し、さらに高める

『上越市らしさ』

- ・四季折々の自然の美しさ、奥深い歴史・文化、その精神性、思いやりや支え合いの精神など、私たちのあたりまえの中にある、この地で受け継がれてきた有形無形の多彩でかけがえのない財産を磨き、より高めていく



②普遍的な安心感、幸福感、満足感（Well-being）の実現

『快適な暮らし』

- ・強靱で安心・安全が保たれ、地域資源の循環を通じて地域間の連携・共生が進み、新たな価値が絶えず創出される、多様性に満ちた心地の良いまち

『幸せな暮らし』

- ・生活の質が高まるとともに、個人と社会とのつながりが深化する中で、自分らしい生き方や将来への希望が実現し、誰もが生きがいをもって暮らせるまち



③この地で暮らす価値を高め、次代につなぐ

『上越市ならではの』

- ・「上越市らしさ」があふれる中で、普遍的な安心感、幸福感、満足感（Well-being）が実感できる、他では感じられない「上越市ならではの」暮らしの価値を確かなものとし、次代に引き継いでいく

まちづくりに込める想いと将来都市像の関係性

2040年

- ・2040年問題
- ・公共施設やインフラ老朽化
- ・担い手や労働力の大幅な不足
- ・人口15万3千人

2030年

- ・SDGs達成年限
- ・人口17万2千人

【まちづくりに込める想い】

上越市ならではの快適で幸せな暮らし

- ・人口減少等の変化が進む成熟社会の中で、「上越市ならではの快適で幸せな暮らし」を実現していくためには、市民の暮らしとまちの成長を支える確かな基盤を確立していくことが必要。

【2030年の将来都市像】

暮らしやすく 希望あふれるまち

- ・各種インフラ、産業、教育、医療、福祉、環境、文化の全てにおいて、社会環境の変化に、柔軟かつしなやかに対応し、誰一人取り残されることなく、自分らしい暮らしができるよう、生活の質の向上を図り、安心感や満足度が高まっている。
- ・地域の魅力や資源、産業や人材などまちの力を市民や地域が一丸となって高め、いかしていく中で、地域に対する愛着や誇りが育まれ、市民一人一人が夢や希望を持って、暮らし、そして、次代を担う子どもや若者が帰ってきたくるようなまちになっている。

政策・施策として展開

2040年頃、どうなっていたいか

※持続可能なまちづくりに向け
長期的な目線で検討

2022年

現在